



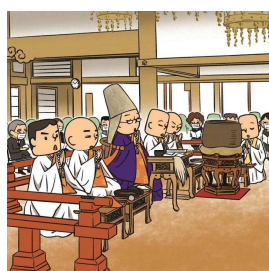
妙法寺だより

令和三年秋号



秋季彼岸会法要

9月23日（秋分の日） 午後2時から



感染対策に細心の注意を払いながら、ご参拝頂ける形で法要を営みます。是非、ご参列ください。

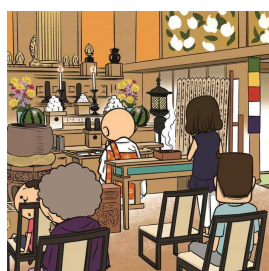
- ・マスク着用のうえご参列ください。
- ・参列席はソーシャルディスタンスを保っております。
- ・本堂での収容人数を超えた場合は

客殿にてご参拝頂きますのでご了承ください。



お彼岸期間中

毎日、彼岸供養を行っております



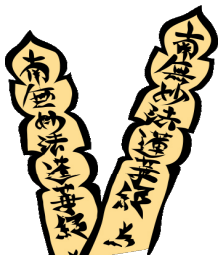
分散化の取り組みとして、お彼岸期間中（9月20日～26日）は、毎日 午後2時より本堂にて彼岸供養会を行っております。是非、ご参列ください。

- ・マスク着用のうえご参列ください。
- ・参列席はソーシャルディスタンスを保っております。



お墓参りと卒塔婆について

お申込頂きました卒塔婆は、秋のお彼岸が始まります9月20日までにお経を上げ、本堂内におそなえしておきます。お彼岸期間中（9月20日～26日）には、ご自由に本堂でお焼香し、卒塔婆をお持ち頂き、お墓に参りください。



卒塔婆の申込は9月17日までに

同封の「卒塔婆申込用紙」に必要事項をご記入頂き、9月17日迄に届くように同封の返信用封筒、FAX・Eメールでお申込みください。FAX：045-812-7676 mail：butuji@myouhouji.jp



お彼岸法要のライブ配信

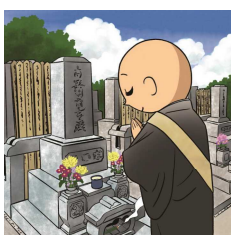
9月23日（彼岸中日）の午後2時から、お彼岸法要をYouTubeでライブ配信します。妙法寺の公式ホームページからアクセス頂けます。コロナ禍でオンラインもご活用ください。



生花とお線香

9月20日～26日まで、受付にてお墓用の生花をご用意しております。生花（お線香付）：1対1500円 お線香：100円

※墓地では販売しておりませんのでご注意ください。



お参り代行

コロナなどのさまざまなご事情により、お墓参りに来られない方、卒塔婆を墓地に供えることが難しい方など、お申込書にその旨をお書き添えください。



恒例となったYouTubeでの
ライブ配信



密を防ぐため、
客殿にも参列席を増設



地方から来られない方のために
代わりにお盆のお墓参り

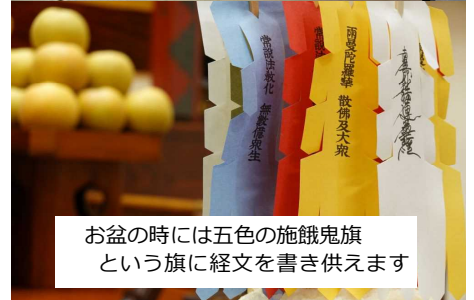
写真で
振り返る
今年のお盆



コロナウィルスによって亡く
なられた方々を供養する卒塔婆



本堂の人数を制限し、
間隔を空けて参列



お盆の時には五色の施餓鬼旗
という旗に経文を書き供えます



恒例の住職の法話
テーマは「悲しみが私を導く」

重いお米をお寺まで届けてくださった方。"重くて届けられないからこれでお米を買って"と、お包みを頂いた方。お米屋さんから直接お寺に届けてくれた方。おやつクラブ本部に直接お送りくださった方。オリンピックのチケット代の払戻金をおやつクラブに使ってほしい、と届けてくださった方など、心温まるたくさんのご寄付を頂きました。心より感謝申し上げます。



お寺から「おそなえ」を
「おさがり」として「おすそわけ」

【順不同】

新田 實様 柳川 忠様 杉山 尊子様
鈴木 貞子様 川島 秀年様 川端美代子様
大西喜代子様 森田 澄子様 橋本 友様
石山 勝弘様 広瀬 信彦様

前号で「おてら おやつクラブ」の寄付を募集したところ、
多くの方々からご支援を頂きました。

奉納 金一封

慈篤院日勝居士 追善菩提之為

奉納主 黒澤タキ様

ご奉納に謹んで感謝申し上げます、ご報告申し上げます。

御奉納



悲しみが
私を導く

先月十六日に執り行われました、お盆の合同法要「盂蘭盆法要」では「悲しみが私を導く」と題しましてご法話させていただきました。本堂では感染防止のために人数を制限したことにより、聞くことができなかった方も多かったことから、今回、文章化してお届け致します。

法華經の一説

日蓮宗が拠り所としてお唱えします法華經に

「常懷悲感 心遂醒悟」

“常に悲感を懷いて 心、遂に醒悟す”

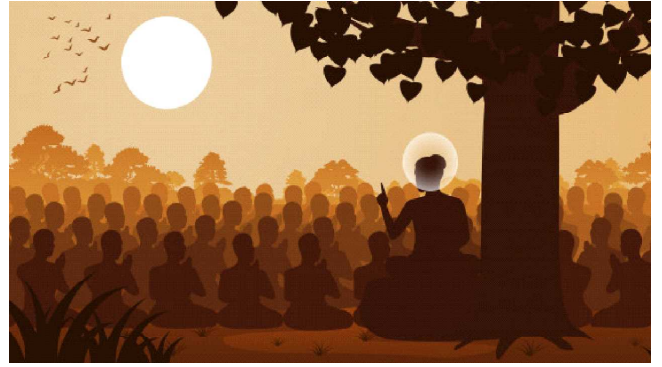
という一説があります。

悲しみを感じたり体験することによって、悟りを得ることができるという意味です。しかし「悲しみ」と「悟り」、何か正反対のような気がしますよね。

お釈迦様の逝去

この經文は、お釈迦様がお亡くなりになられた後、遺されて悲しみに暮れる弟子達の様子を表したお経の一説です。お釈迦様は80歳でお亡くなりになられたと伝えられ、当時は数え切れないほどの多くの弟子がおりました。弟子達にとってお釈迦様の存在は、師匠でもあり、親のような存在でもあり、心の支えでありました。お釈迦様の逝去によって、弟子達は大変悲しみ、





苦しみ、行く末を案じたと伝えられております。しかし、このまま嘆き悲しんでばかりではいけないと、弟子の長老であった摩訶迦葉は弟子達を集め、お釈迦様が生前に説かれた教えをまとめ始めました。それが、現在「お経」として伝えられております。そのためお経の初めは「如是我聞（是の如き我聞き）」「私はお釈迦様からこのように聞きました」と始まるお経が多いのです。法華経もまさに「如是我聞」から始まります。摩訶迦葉を中心に弟子達は、お釈迦様の教えを振り返り、学び直し、その教えを元に修行し生きること

墮落した生活

で悟りを得た弟子達の様子を表したのが、この「常懷悲感心の悲しみや苦悩が、最後は弟子達に教えを振り返るきっかけとなり、学び、自立することによって悟りへ導いたということ」であります。

私自身（住職）もまさに同じような体験をしました。平成19年4月に先代住職を亡くしましたが、先代住職が亡くなる前までは、自分の部屋に籠もり、TVゲームやマンガに明け暮れた自堕落な生活を送っておりまして。しかし、先代住職が事故で急逝してしまったことで、七百年以上の歴史が続く、たくさん

の檀家さんを抱える妙法寺住職というバトンが、急遽自分の手に渡されることになりました。どうにか妙法寺の危機を乗り越えていかなければならない。七百年以上続いている歴史も繋いでいかなければならない。檀家さんを不安にしているのではない。一晩にして、私に大きな責任や使命がのし掛かってきました。しかしその大きな悲しみの経験や辛い経験、重く困難な経験、逃げ出したくなるような苦しい経験が墮落していた私を導き、覚醒させてくれました。



“あの時の苦労があったからこそ、今がある！”
 “本当に困った経験をしたからこそ、覚悟が生まれた”
 “あの時の辛い経験があったからこそ、

たくさん

の気づきを得た”
 そんな経験を持たれる方も多いのではないのでしょうか。

悲しみが私を導く

人生は苦しみや悲しみを避けて生きていくことはできません。そして経験した辛い過去、悲しい過去、苦しかった過去を変えることはできません。しかし、過去に起きたその経験をどのように受け止めるのか。どのように解釈するか。それは自身の心ひとつで変えることはできます。人生にとって意味のある苦しみや悲しみにする。苦しみや悲しみを「生きる力」に変えることはできるのではないかと思います。

浄心道場のご案内

日々の疲れた心を

癒やし清らかにする

心みがきの価値ある日曜日

ゆっくりと自分と向き合う

心豊かな時間

毎月第一日曜日

午後3時 第一部 供養会

午後4時 第二部 法話会

Peatix

パソコンから



<http://peatix.com/>
Peatixトップページより
浄心道場と検索。

スマートフォンから



QRコードを読み取り後、
Peatixトップページより
浄心道場と検索。



本光寺
上田尚史 上人

「おい坊さん！兄貴は成仏したか？」突然、お葬式で投げつけられた言葉に、しどろもどろになる私。実際にあった体験をもとに成仏の証拠を探していきます。いつか必ず「死」を迎える私たち。皆様も一緒に探してみませんか。

成仏の証拠
く目に見えない
ものをみつけるく



一般社団法人 リヴオン
尾角光美 さん

9月5日の浄心道場 講師

なくしたものと

つながる生き方

大切な人をなくしたり、死別でなくとも、日々の中に自分が大事にしてきたものを失った体験は誰しもあるのではないでしょう。失ったことを「乗り越えて」いく生き方ではなく、そのことを大切に抱きながら生きていくこと。失った人やもののつながりについて、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

墓地の水屋が リニューアル



前号でお伝えしました通り、老朽化しておりました墓地の水屋の改修工事が無事に完了し、新しく生まれ変わりました。妙法寺の受付のリフォームを手掛けてくださいました「伊佐ホームズ株式会社」さんが施行してくださいました。屋根はお寺らしく木材を使用し、壁は水で腐食しないようにモルタルで仕上げ。モルタルを形成する枠を杉の板を使用することでキレイな木目調が表れる特殊な技法によって施行されています。また水受けは手水舎ちようすやのようなデザインで、戸塚区品濃町にあります「株式会社 石半」さんがご寄進をしてくださいました。この場をお借りして御礼申し上げます。気持ちよくお墓参りができるような水屋を目指してリニューアルしましたので、お墓参りの際には、是非ご注目ください。



改修前



お会式法要は、

役員のみで執り行います。

11月7日(日)に予定しております「お会式法要」(宗祖御入滅報恩会式)は、規模を縮小し、妙法寺の役員のみで執り行うことと致しました。何卒、ご了承ください。

11月の浄心道場は、

後日お知らせ致します。

お会式法要と同時開催を計画しておりました11月7日の浄心道場は、感染状況を考慮したうえで、別の企画を考えて参ります。10月になりましたら妙法寺のホームページをご確認ください。また、浄心道場会員の皆様にはダイレクトメールでお知らせ致します。